待ちぼうけ

本調子

○工上老乙中中中工上乙　老　○　老上上　上　○

まち　ぼう　け　　あるひ　せっ　せと　のら　かせ　ぎ

老上上　上　○　○中上上中　上上老上中四上　○

そこ　へう　さぎ　が　とん　で　でて　　ころ　り　ころ　げた

○老上上老上上上中尺工五上　○　○工上老乙中中中

きの　ねっ　こ

工上乙　老　○　○工上老乙中中中工上乙　老　○

一、待ちぼうけ　待ちぼうけ
ある日せっせと　野良（のら）かせぎ
そこへ兎（うさぎ）が飛んで出て
ころり　ころげた　木のねっこ

二、待ちぼうけ　待ちぼうけ
しめた　これから寝（ね）て待とか
待てば獲（え）ものは　駆（か）けて来る
兎ぶつかれ　木のねっこ

三、待ちぼうけ　待ちぼうけ
昨日（きのう）鍬（くわ）とり　畑仕事（はたしごと）
今日は頬（ほお）づえ　日向（ひなた）ぼこ
うまい伐（き）り株（かぶ）　木のねっこ

四、待ちぼうけ　待ちぼうけ
今日（きょう）は今日はで　待ちぼうけ
明日（あす）は明日はで　森のそと
兎待ち待ち　木のねっこ

五、待ちぼうけ　待ちぼうけ
もとは涼しい黍畑（きびばたけ）
いまは荒野（あれの）の箒草（ほうきぐさ）
寒い北風　木のねっこ